

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 414 (通算 746 回)

2021年4月30日(金)

学生への教員像の明示とキャリア形成 ――

新・教職課程の全学組織と質向上の方策

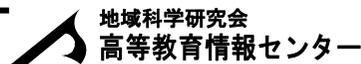
～ 「教職センター」の組織と役割/教員養成教育の深化/学校・地域協働 ～

- ※ [玉川大] 16 単位 C A P 制・128 単位内での養成/4 年間を通じた指導・支援/質保証評価
- ※ [国士舘大] センター・支援室・アドバイザーの役割と協働/教委との連携/ハイブリッドな対応
- ※ [松本大] 教員像の 4 本柱/2 大ミッションと 6 ビジョン/M-T O P 体系とポートフォリオ
- ※ [愛知大] 学生ニーズの変容と充足/センターの役割と学部教育/学内外連携による質保証

● 講師陣 ●

- 高橋 正彦 氏 / 玉川大学 教師教育リサーチセンター長
- 山室 和也 氏 / 国士舘大学 教職課程運営センター 副センター長 文学部 教授
- 山崎 保寿 氏 / 松本大学 全学教職センター長 人間健康学部 教授
- 加島 大輔 氏 / 愛知大学 教職課程センター 副所長 文学部 准教授

2021年4月30日(金) 日本教育会館 会議室(東京・神保町) & オンライン



日時: 2021年4月30日(金) 10:00 ~ 16:50

会場: 日本教育会館 会議室(東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩 3 分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 41,000 円(税込)

B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 43,000 円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 21,000 円(税込)

※ 「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用予定です。

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録した CD を送付します。

※ 当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234)1231 Fax: 03(3234)4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

(※参加申込みの折は、必ず FAX か E-mail にてお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 414

(該当する□に✓印を)

年 月 日

新・教職課程の全学組織と質向上の方策

当日会場参加 オンライン当日参加 メディア参加

支払方法 当日払い 銀行振込

必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>10:00</p> <p>11:30</p>	<p>□ [玉川大] 教員養成の質向上に向けた玉川大学の取り組み ～ 教師教育リサーチセンターによる全学体制での運営の現状と課題 ～ 玉川大学 高橋 正彦</p> <p>1. 教員養成における単位の実質化への取り組み (1) 本学カリキュラムの特徴 (2) 16単位CAP制と教職課程科目 (3) 教職課程の質保証</p> <p>2. 4年間を通じた教職課程指導・支援体制 (1) 1年次からの教員養成と教職課程受講支援プログラム (2) 各学年における教職課程受講支援プログラムの概要 (3) 1年次の主な教職課程支援講座 (4) 1年次生への参観実習の導入</p> <p>3. 教員養成の質向上に向けた教職課程の全学体制による組織の運営 (1) 教師教育リサーチセンターによる全学学生支援 (2) 教師教育リサーチセンターによる研究活動の推進</p> <p>4. 教員養成の質保証評価への取り組み 5. 大学院での教職課程の充実と課題 6. 「質の高い教員養成」に向けた今後の課題 〈質疑応答〉</p>
<p>11:40</p> <p>13:00</p>	<p>□ [国士舘大] 教員養成と教職課程運営センターの役割 ～ 教職支援室・アドバイザーの設置と各教育委員会との連携 ～ 国士舘大学 山室 和也</p> <p>1. 国士舘大学における教員養成と教職課程運営センター (1) 本学における教員養成の現状 (2) 教職課程運営センター設置について (3) この1年の新型コロナウイルス感染症対応について (4) これからのハイブリッド対応の教職支援について</p> <p>2. 教職支援室と教職支援アドバイザー (1) 教職支援室の開室の経緯とこれまでの実状 (2) 教職支援アドバイザーの役割(相談業務と支援) (3) 教職特別講座について(「楓教育会」との共催) (4) これからの課題</p> <p>3. 各教育委員会との連携 (1) 連携のための協議会等 (2) 採用に関わる連携(大学推薦・養成プログラム) (3) 教育実習・ボランティア・インターンシップ等 (4) これからの連携の在り方(授業「教職実践演習」と教職支援プログラムと) 〈質疑応答〉</p>
<p>14:00</p> <p>15:20</p>	<p>□ [松本大] 教職キャリア形成と総経・人間教職センターの役割 ～ 「教員像の4本柱」と「2大ミッションと6ビジョン」の展開～ 松本大学 山崎 保寿</p> <p><オンラインによるご講義></p> <p>1. 教職キャリア形成の動向と教職センターの役割 (1) 教員育成指標と養成段階の関係 (2) 教職課程を管理運営する組織の在り方に関する動向 (3) 松本大学教職センターの発足経緯</p> <p>2. 松本大学総経・人間教職センターの役割 (1) 松本大学教職課程が目指す「教員像の4本柱」 (2) 「2大ミッションと6ビジョン」の展開 (3) 総経・人間教職センターのグランドデザイン</p> <p>3. M-TOP構想を基軸とした未来志向的展開 (1) M-TOP構想の趣旨と目的 (2) M-TOP構想の内容と期待される効果 (3) 松本大学教育実践改善賞の創設 〈質疑応答〉</p>
<p>15:30</p> <p>16:50</p>	<p>□ [愛知大] 教員養成と教職課程センターの役割 ～ 学内の組織・支援体制と学外・学校現場との「連携」の模索 ～ 愛知大学 加島 大輔</p> <p><オンラインによるご講義></p> <p>1. 教職課程センターの役割と本学固有の事情 (1) 従来の教員養成体制の問題点 (2) 設置計画の推移・学部専門教育との関係性 (3) カリキュラムと学生指導双方の充実をめざす組織 (4) センター設置と学内の反応</p> <p>2. 学生ニーズの充足と「大学における教員養成」の質的確保 (1) 学生支援体制の向上 (2) 地域連携活動と教員採用への支援 (3) 教職志望者層の変容と学内の視線の変化 (4) 「大学における教員養成」の模索</p> <p>3. 教職課程の「質保証」を含む体制とその課題 (1) センターの存在感をベースにした組織体制 (2) 人的な関係性が基盤の学内理解 (3) 学校現場のニーズと参入者としての教員志望者 (4) 組織・支援・カリキュラムの不断の模索 〈質疑応答〉</p>